2019 年本試

- **間2** 鎌倉時代の仏教についての説明として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 21
 - ① 日本に臨済宗を広めた栄西は、正式な僧となるには戒律が必要不可欠であるとの考えをもとに、東大寺に戒壇を設立して、僧を育成するための受戒制度を確立した。
 - ② 時宗の開祖である一遍は、寺院や道場をもたずに全国を遊行し、踊り念仏 を広めて衆生を救済することに生涯を 捧げ、その教えの内容を『立正安国 論』を著して示した。
 - ③ 日本に臨済宗を広めた栄西は、末法の時代であっても、禅の修行により優れた人物が育つことが鎮護国家をもたらすと考え、その主張を『興禅護国論』を著して示した。
 - ④ 時宗の開祖である一遍は、ただ一度だけでも「南無妙法蓮華経」と唱えれば、信・不信を問わず、すべての人が極楽へ往生できると主張し、行き合う人々に札を配って布教に努めた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	21	3	3

2017 年本試

- 問3 次のア〜ウは、人々を救いに導く新しい教えを説いた鎌倉時代の人物について説明したものである。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①〜⑧のうちから一つ選べ。 22
 - ア 法然は、身分や能力に応じた念仏の唱え方を考案し、それぞれの唱え方に 応じて異なる浄土に往生すると説いた。
 - **イ** 道元は、悟りを得るためには、坐禅の修行とともに師から与えられた公案 について議論することが必要であると説いた。
 - ウ 栄西は、悟りを得るためには、坐禅の修行と戒律の遵守が必要であるとし、 禅の教えが国家の安寧にも役立つと説いた。
 - ①ァ正ィ正ゥ正
 - ② ア 正 イ 正 ウ 誤
 - ③ ア 正 イ 誤 ウ 正
 - ④ ア 正 イ 誤 ウ 誤
 - ⑤ ア 誤 イ 正 ゥ 正
 - ⑥ ア 誤 イ 正 ウ 誤
 - ⑦ ア 誤 イ 誤 ウ 正
 - 8 ア 誤 イ 誤 ウ 誤

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 3	22	7	3

2014 年追試

問2 栄西の思想の説明として最も適当なものを,次の①~④のうちから一つ選べ。

21

- ① 外には戒律を守り、内には慈悲の心を保って坐禅に打ち込み、悟りに達することによって、自己だけでなく国家をも平安にできる。
- ② 自ら善行ができると思う人は、自分に煩悩があるという自覚がない。自らの煩悩を自覚し、阿弥陀仏の他力をたのむ人にこそ救済はある。
- ③ ひたすら坐禅をして、身心を尽くした修行が重要であり、それにより、一切の束縛から解放され、身心脱落の境地に至る。
- ④ 釈迦の教えを正しく伝える『法華経』にこそ真理がある。この経典を最高 のものとして尊重し、題目を唱えることで成仏は可能になる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 3 問	問 2	21	1	2

2010 年本試

- 間4 日本臨済宗の開祖である栄西の教えとして最も適当なものを、次の①~④の うちから一つ選べ。 17
 - ① 仏の 観差 しから見れば、貧富や身分の上下は見せかけにすぎない。為政 者は仏の眼差しを心にとめて人々に対するべきだ。
 - ② この世界は、欲望や苦悩に満ちている。この世をけがれた世として 厭い、 極楽浄土に往生することを願い求めなければならない。
 - ③ 山川や草木といった、心をもたないものさえも仏性をもち、ことごとく真理と一体になって成仏することができる。
 - ② 末法の時代であっても戒律を守り、坐禅の修行に励み、国家に役立つ優れた人物を育成することが重要である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問 4	17	4	3

2009 年追試

- 問2 鎌倉新仏教の代表的な僧の一人である栄西の思想的特徴として最も適当なものを、次の①~④のうちから一つ選べ。 15
 - ① 末法の世であっても禅を興すことが国を 護 ることになると唱え、坐禅と 公案に取り組むことが悟りにつながるとした。
 - ② 釈迦仏が衆生のために説いてくれた法華経によってすべての人が悟りを 開けば、この世は仏の世界となるとした。
 - ③ 誓願を立て 名 号 を衆生に授けてくれた阿弥陀仏を信じる心すらも,阿弥陀仏の力とはからいによるものであるとした。
 - ② 末法の世では修行して悟りを開くことは困難だから、ひたすら名号を唱え 阿弥陀仏に帰依するべきであるとした。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	問 2	15	1	3